

第152期

報 告 書

2021年4月1日から2022年3月31日まで



株式会社 **ニッカトー**

証券コード：5367

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第152期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当事業年度における我が国経済は、年明け以降のコロナ感染拡大に伴う「まん延防止等重点措置」による消費活動の停滞、企業活動の一定の制約等の影響を受けました。また、昨年後半からのエネルギー関連の価格上昇及び2022年2月以降のロシアのウクライナ侵攻に伴う、更なる原料価格の上昇やエネルギー関連の価格の押上など、足元の堅調な当社の業績に対して、今後の経済見通しや市況の「不確実性」が一層増しており、予断を許さない状況にあります。

このような状況のもとで、当社事業全体の売上高は前年同期比15.3%増の9,978,775千円となりました。損益面につきましては、営業利益は前年同期比167.7%増の972,169千円、経常利益は133.7%増の1,027,914千円、当期純利益は144.7%増の671,884千円と大幅な増収増益となりました。

セグメント別の状況に関しましては、セラミックス事業につきましては、当社主要客先である電子部品業界の市況が好調に推移しました結果、売上高は前年同期比15.4%増の7,620,378千円となりました。市場別構成比率では、電子部品向け53.2%、化学・窯業向け16.2%、環境・エネルギー向け3.5%となりました。一方エンジニアリング事業におきましても、セラミックス事業と同様に活発な市況に支えられ好調に推移した結果、売上高は前年同期比14.9%増の2,358,396千円となりました。市場別構成比率は電子部品向け26.1%、自動車・重機向け21.6%、環境・エネルギー向け19.5%となりました。損益面につきましては、セラミックス事業は好調な受注により工場稼働率が向上した結果、前年同期比165.7%増の892,372千円となりました。エンジニアリング事業も増収効果が大きく、また、前事業年度に実施した組織改編等による固定費削減効果もあり、前年同期比193.3%増の79,796千円となりました。

結果、当社目標数値としているROE（自己資本当期純利益率）8%以上、EPS（1株当たり当期純利益）65円以上につきまして、当事業年度の実績はROE5.8%、EPS56円29銭となり、両目標数値を下回る結果となりました。

今後も資本の効率的な運用及び利益率改善に取り組み、引続き目標数値を目指していくものであります。

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による企業活動の一定の制約を受ける中ではありましたが、当社の主要客先である電子部品業界を中心に堅調な受注環境にあり、当事業年度は前年同期比増収増益となりました。一方、昨年後半からの原材料価格の高騰やエネルギー関連の価格上昇及び2022年2月以

降のウクライナ情勢の問題から一層エネルギー関連の価格や原材料の価格を押し上げる要因となり、当社主力客先の電子部品業界にも業績への一定の影響を受けることが想定され、当社の受注環境にも影響が見込まれ、昨年2021年11月「CONNECT25」の新中期経営計画における、2022年度の業績見込みを下方修正せざるを得ないと判断いたしました。2023年3月期の業績につきましては、売上高100億円、営業利益7億円、経常利益7億2千万円、当期純利益5億円の2022年3月期比増収減益と予想しております。尚、配当につきましては減配の15円とさせていただきます。

このような状況下ではありますが、引続き生産効率の改善や今後の環境問題を見据えた、原材料の使用量等を削減すべく「リサイクル・リユース」を現在推し進めております。これによりコスト削減や将来の脱炭素社会に貢献すべく、企業価値向上及び持続的成長に努めます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上

取締役社長

大西宏司



経営方針

● 経営の基本方針

当社は、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて生産の効率化を図り、適正な価格で販売して、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

更に、企業基盤の強化と業績の向上を図り企業価値を高めることに最善を尽くしますとともに、スピーディな経営情報の開示に努めてまいります。

● 利益配分に関する基本方針

当社は、経営資源の効率的な運用を行って企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としています。

利益配当につきましては、上記観点から配当性向30～50%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うように努めてまいります。

● 中長期的な経営戦略

当社の存在意義である、「独自素材の提供を通じて、脱炭素社会の実現に貢献する」べく、持続的に成長し、社会的課題の解決に取組み続けられる経営基盤の再構築期間と位置づけ、2021年11月に新中期経営計画「CONNECT 25」を策定いたしました。その主なテーマは以下の通りです。

【QUALITY】市場ニーズに応える製品・技術の追求

- ・これまで築いてきた競争優位性を元に、変化する市場ニーズに応えられる製品開発を推進
- ・素材・性能・品質・コスト面において、更なる付加価値向上・差別化を追求

【ENVIRONMENT】環境負荷軽減のための技術開発

- ・製品製造時の温室効果ガス削減・エネルギー利用減少を実現する、製造プロセス改善を推進
- ・当社の製品により、顧客の生産工程における環境負荷の軽減に繋がる製品・技術開発を強化

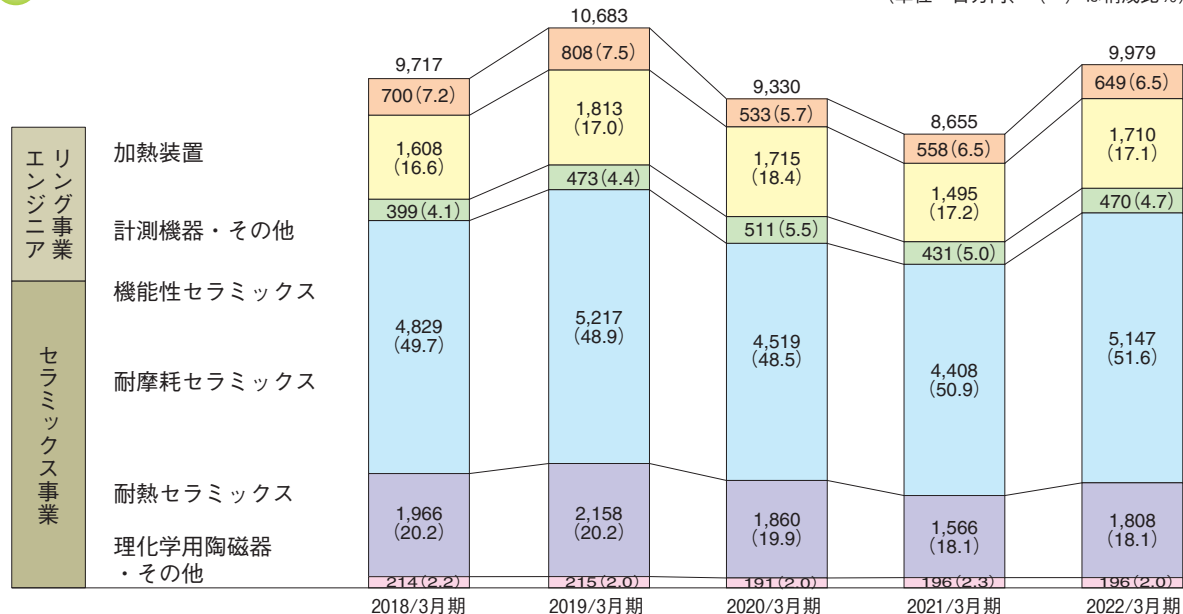
【MANAGEMENT】事業ポートフォリオの再構築

- ・全事業・製品を4つのステージ（重点・強化・再構築・再編）に分類定義
- ・市場ニーズに応えるべく、競争力のある重点・強化事業には経営リソースを集中投下再構築・再編事業は高付加価値化による収益性改善を図る

以上の取組みにより、脱炭素社会の実現に貢献し“Reliable Company”－時代に必要とされる企業だけが成長する－ことを意識し持続的成長に繋げてまいります。また併せて人材の育成及び知財管理の強化に努めてまいります。

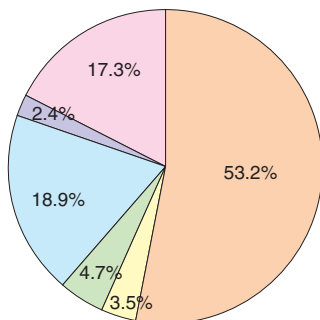
● 事業別売上高・構成比

(単位：百万円、() は構成比%)



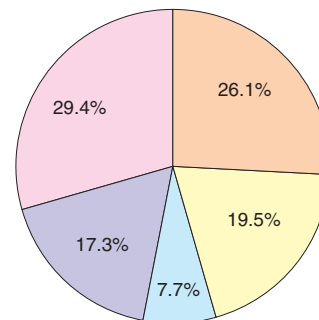
● 市場別構成比 (2022/3月期)

セラミックス事業



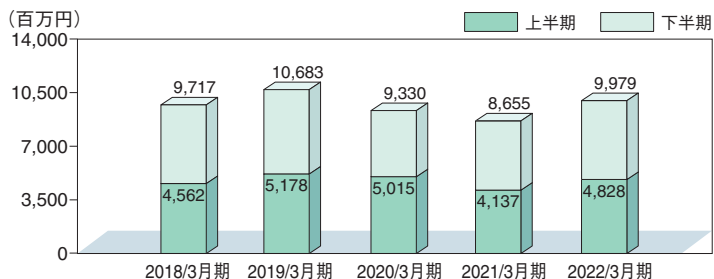
■ 電子部品 ■ 化学・窯業・鉄鋼
■ 環境・エネルギー ■ 半導体
■ 機械・ベアリング ■ その他

エンジニアリング事業

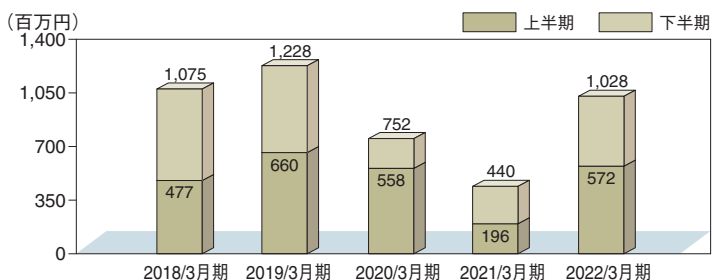


業績の推移

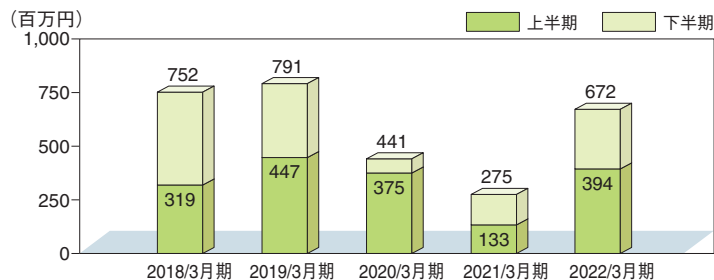
売上高



経常利益



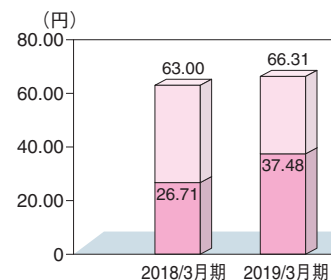
当期純利益



項目	2018年3月期 第148期	2019年3月期 第149期
受注高(千円)	10,472,980	11,002,562
売上高(千円)	9,716,607	10,682,834
経常利益(千円)	1,074,881	1,228,320
当期純利益(千円)	751,964	791,491
1株当たり当期純利益(円)	63.00	66.31
純資産(千円)	10,569,600	10,888,836
総資産(千円)	14,639,969	15,080,961
総資産経常利益率(%)	7.6	8.3
自己資本当期純利益率(%)	7.4	7.4
売上高営業利益率(%)	10.6	10.9

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計の期首から適用しており、第148期については遡及処

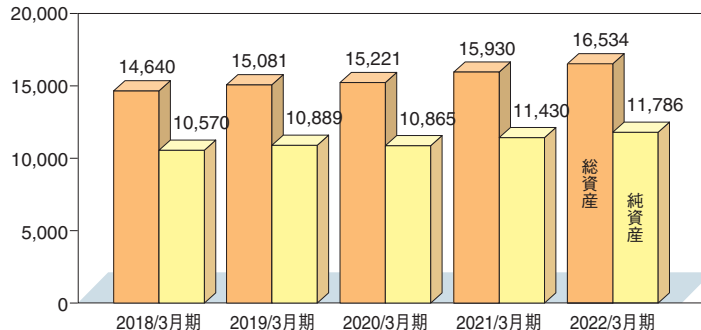
1株当たり当期純利益



● 総資産・純資産

2020年3月期 第150期	2021年3月期 第151期	2022年3月期 第152期
8,795,024	8,710,494	10,466,713
9,329,618	8,654,588	9,978,775
752,367	439,799	1,027,914
441,068	274,575	671,884
36.95	23.00	56.29
10,865,165	11,429,965	11,786,460
15,220,841	15,930,202	16,533,730
5.0	2.8	6.3
4.1	2.5	5.8
7.1	4.2	9.7

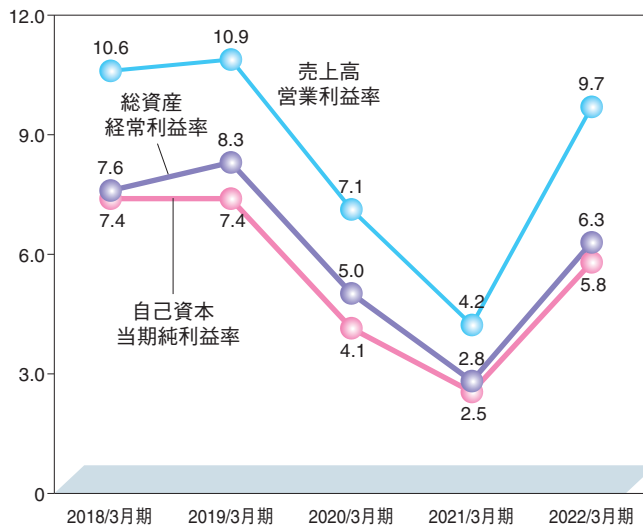
(百万円)



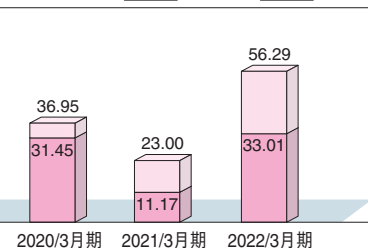
● 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率、売上高営業利益率

基準第28号（2018年2月16日）等を第149期理後の数値を記載しております。

(%)



■ 上半期 ■ 下半期



貸借対照表

資 産 の 部			
期 別	第152期	第151期	第150期
科 目	(2022年3月31日現在)	(2021年3月31日現在)	(2020年3月31日現在)
流 動 資 産	9,606,685	8,424,258	8,338,649
現 金 預 金	3,357,885	2,676,471	2,410,596
受 取 手 形	487,858	492,602	653,444
電 子 記 録 債 権	783,950	580,989	588,800
売 掛 金	2,185,131	1,882,159	1,837,695
商 品 ・ 製 品	1,094,827	1,306,707	1,242,085
そ の 他 の 棚 卸 資 産	1,659,424	1,450,565	1,523,459
そ の 他	37,607	34,762	82,567
固 定 資 産	6,927,044	7,505,943	6,882,191
有 形 固 定 資 産	4,858,727	5,246,133	5,032,631
建 物	2,416,247	2,510,991	1,468,106
機 械 装 置	1,264,972	1,491,656	1,532,604
土 地	904,808	944,780	943,668
そ の 他	272,698	298,704	1,088,251
無 形 固 定 資 産	189,198	151,902	146,842
投 資 そ の 他 の 資 産	1,879,119	2,107,907	1,702,717
投 資 有 価 証 券	1,754,621	1,960,768	1,544,590
事 業 保 険 掛 金	18	16,636	16,135
繰 延 税 金 資 産	—	—	62,369
破 産 更 生 債 権 等	—	—	0
そ の 他	124,479	130,502	79,622
資 産 合 計	16,533,730	15,930,202	15,220,841

(単位：千円未満切り捨て)

負債の部			
期別	第152期 (2022年3月31日現在)	第151期 (2021年3月31日現在)	第150期 (2020年3月31日現在)
科目			
流動負債	3,668,272	3,108,682	2,888,260
電子記録債務	434,796	339,932	283,759
買掛金	1,524,689	1,078,143	1,102,031
短期借入金	400,000	400,000	400,000
1年以内返済予定の長期借入金	256,892	248,392	220,892
未払消費税等	171,067	126,629	—
未払法人税等	228,015	94,200	10,376
賞与引当金	266,300	218,200	219,400
その他の	386,511	603,183	651,801
固定負債	1,078,997	1,391,553	1,467,415
長期借入金	756,128	1,004,520	1,178,412
役員退職慰労引当金	95,022	177,619	163,787
預り保証金	67,577	67,575	67,569
資産除去債務	60,992	42,573	42,104
繰延税金負債	97,658	96,145	—
その他の	1,618	3,119	15,542
負債合計	4,747,269	4,500,236	4,355,676
純資産の部			
株主資本	11,258,802	10,742,159	10,634,770
資本金	1,320,740	1,320,740	1,320,740
資本剰余金	1,225,438	1,225,438	1,225,438
資本準備金	1,088,420	1,088,420	1,088,420
その他資本剰余金	137,017	137,017	137,017
利益剰余金	8,800,288	8,283,565	8,176,090
利益準備金	205,810	205,810	205,810
その他利益剰余金	8,594,478	8,077,755	7,970,280
別途積立金	5,100,000	5,100,000	5,100,000
繰越利益剰余金	3,494,478	2,977,755	2,870,280
自己株式	△87,665	△87,585	△87,498
評価・換算差額等	527,657	687,806	230,394
その他有価証券評価差額金	527,657	687,806	230,394
純資産合計	11,786,460	11,429,965	10,865,165
負債及び純資産合計	16,533,730	15,930,202	15,220,841

損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

科目 \ 期別	第152期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)	第151期 (2020年4月1日から 2021年3月31日まで)	第150期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	9,978,775	8,654,588	9,329,618
売上原価	7,644,827	7,021,660	7,303,895
売上総利益	2,333,947	1,632,928	2,025,723
販売費及び一般管理費	1,361,778	1,269,826	1,359,294
営業利益	972,169	363,101	666,429
営業外収益	71,657	111,864	99,724
営業外費用	15,911	35,166	13,786
経常利益	1,027,914	439,799	752,367
特別利益	—	—	11,887
特別損失	17,780	2,796	118,489
税引前当期純利益	1,010,133	437,003	645,764
法人税、住民税及び事業税	291,000	168,000	184,000
法人税等調整額	47,249	△5,571	20,695
当期純利益	671,884	274,575	441,068

株主資本等変動計算書

NIKKATO

(単位：千円未満切り捨て)

第152期 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
当期首残高	1,320,740	1,225,438	8,283,565	△ 87,585	10,742,159	687,806	11,429,965
当期変動額							
剰余金の配当			△ 155,161		△ 155,161		△ 155,161
当期純利益			671,884		671,884		671,884
自己株式の取得				△ 79	△ 79		△ 79
株主資本以外の項目の 当期変動額						△ 160,148	△ 160,148
当期変動額合計			516,723	△ 79	516,643	△ 160,148	356,494
当期末残高	1,320,740	1,225,438	8,800,288	△ 87,665	11,258,802	527,657	11,786,460

貸借対照表・損益計算書に対する注記

	第152期	第151期	第150期
1. 有形固定資産減価償却累計額	11,626,483千円	11,061,490千円	10,521,539千円
2. 担保に供している資産 投資有価証券	50,268千円	53,247千円	44,209千円
3. 1株当たり当期純利益	56円29銭	23円00銭	36円95銭

キャッシュ・フロー

当事業年度末における現金及び現金同等物は3,357,885千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

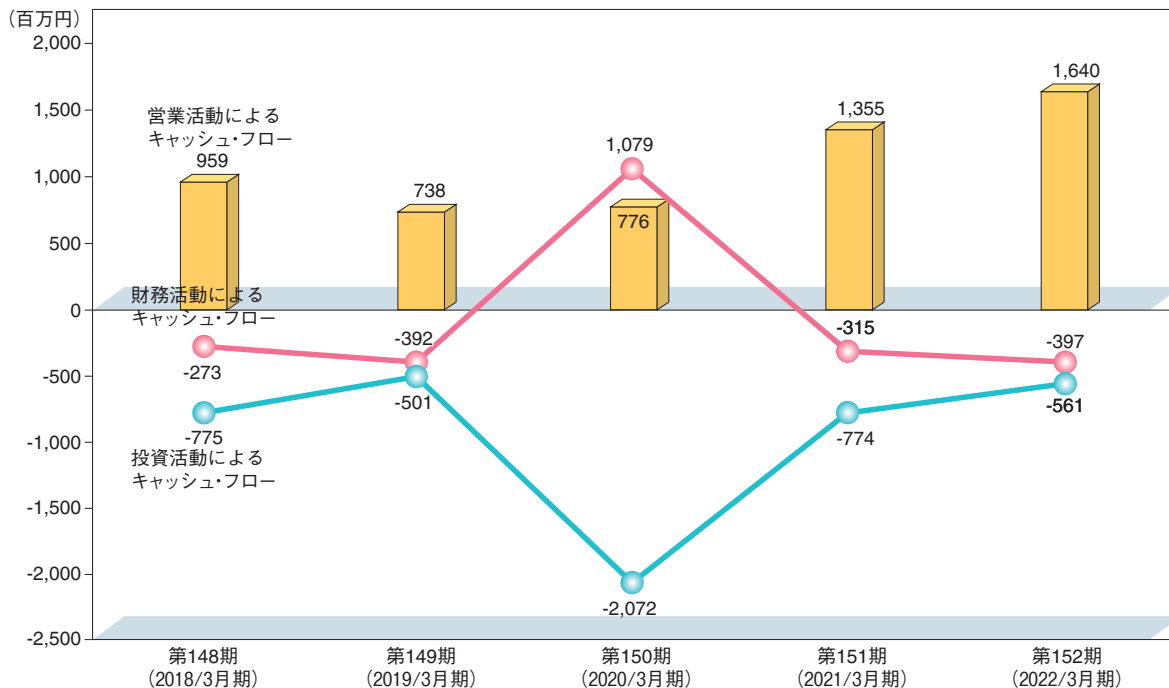
営業活動によるキャッシュ・フローは、新型コロナウイルスにより一部事業に制約は受けたものの電子部品業界の好調により税引前当期純利益が1,010,133千円と前年同期比573,130千円(131.2%)増加いたしました。一方で、役員退職引当金の取崩しにより△82,597千円と前年同期比96,429千円(前年は13,832千円の収入)支出が増加いたしました。加えて、法人税等の支払額が△165,081千円と前年同期比79,954千円(93.9%)支出が増加いたしました。結果、営業活動によるキャッシュ・フローは1,639,569千円と前年同期比284,741千円(21.0%)収入が増加いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産合理化に向けた投資は継続して実施しているものの設備の更新がひと段落した影響により有形固定資産の取得による支出が△530,071千円と前年同期比369,638千円(41.1%)支出が減少いたしました。一方で昨年度のような投資有価証券の償還はございませんでした。結果、投資活動によるキャッシュ・フローは△561,298千円と前年同期比212,272千円(27.4%)支出が減少いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の調達を実施しなかったことにより、△396,858千円と前年同期比81,476千円(25.8%)支出が増加いたしました。



【医薬用専用グレード YTZ[®]-GHボールの上市】

当社の主力製品でありますYZZ[®]ボールは、厳しい品質管理と高い信頼性から、販売以来多くの分野でご採用をいただき、現在も電子部品分野を中心に高い評価をいただいております。

近年ではAPI（有効成分）の効率的な吸収目的等で、医薬品分野でも微粉碎用途が増加傾向にあり、優れた摩耗特性と品質安定性により当社製品の採用が進んでいます。

今回、医薬品メーカ各社において、更に安心してジルコニアメディアをご使用いただけるよう、専用グレードである『YZZ[®]-GH』ボールを上市いたします。当グレードでは、原材料からのトレサビリティを可能にし、GMP省令ガイドラインに対応した品質管理体制の構築を図っております。

ニッカトーの保有するボール製造技術で高性能医薬品、ジェネリック医薬品などの製造に貢献し、社会貢献を目指します。



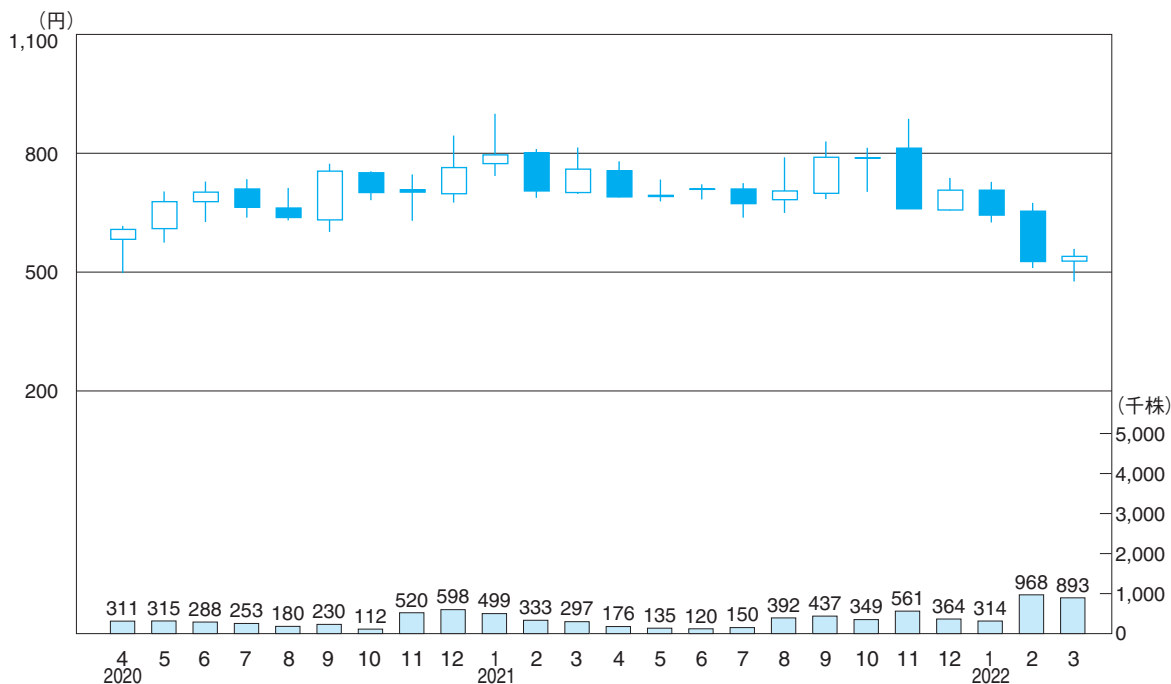
株式の状況 (2022年3月31日現在)

● 発行可能株式総数
37,280,000株

● 発行済株式総数
11,935,457株
(自己株式200,238株を除く。)

● 株主数
3,137名

● 株価・株式売買高



● 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託)	1,036	8.7
ニッカトー取引先持株会	715	6.0
東ソー株式会社	599	5.0
株式会社チノー	574	4.8
株式会社みずほ銀行	499	4.2
株式会社共和電業	400	3.4
ニッカトー従業員持株会	374	3.1
朝日生命保険相互会社	353	3.0
株式会社ツバキ・ナカシマ	300	2.5
株式会社日本カストディ銀行(信託)	293	2.5

(注) 当社は自己株式200,238株を保有しております。

会社の概要 (2022年4月1日現在)

NIKKATO

- 創業 大正2年6月
- 資本金 13億2,074万円
- 事業の内容 セラミックス及び計測機器・加熱装置の製造・販売
- 事業所
本社 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3641
東京管理本部 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3500
セラミックス営業本部 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-4681
名古屋営業所 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄2丁目2番1号(イノフィスビル) ☎(052)269-2440
九州営業所 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名2丁目11番13号(大名偕成ビル) ☎(092)736-1285
厚木営業所 〒243-0018 神奈川県厚木市中町1丁目8番24号(リバーサイドビル) ☎(046)296-1155
堺工場 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3643
東山工場 〒599-8247 大阪府堺市中区東山670番地 ☎(072)278-0385

役員 (2022年6月17日現在)

代表取締役	取締役	取締役	取締役	役員	大西宏司	※取締役	取締役	役員	田邊絵理子
常務取締役	取締役	取締役	取締役	役員	濱田悦男	※取締役	取締役	役員	飴山久道
取締役	取締役	取締役	取締役	役員	安岡廣	※取締役	取締役	役員	西村元昭
取締役	取締役	取締役	取締役	役員	土井祐二	※取締役	取締役	役員	白間真次
取締役	取締役	取締役	取締役	役員	原田俊和				

(注) 取締役のうち飴山久道、西村元昭、白間真次の3名が監査等委員である取締役であります。(※印の取締役は社外取締役)

会計監査人 清稜 監査法人

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日

定時株主総会 6月

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

公告方法 電子公告とします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

公告掲載URL (<https://www.nikkato.co.jp/>)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

(未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続き)

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行 証券代行部

0120-288-324 (通話料無料)

(証券会社に口座をお持ちの場合の各種お手続き)

お取引の証券会社

(特別口座に入っている場合の単元未満株式の買取等のお手続き)

〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

みずほ信託銀行 証券代行部

0120-288-324 (通話料無料)